



[京都市の景観重要建造物]

景 039 (H22)

延宝3年(1675)創業の増田徳兵衛商店は、伏見で最も長い歴史をもつ蔵元のひとつです。江戸時代には、京都と大阪を行き交う公家や高級武士の中宿も務めた旧家であり、慶応3年(1867)、鳥羽伏見の戦いで焼失しましたが、すぐに再建されました。

鳥羽街道を挟んで主屋と酒蔵が建ち、主屋は右手側に店舗の入口、左手側に住居の入口がある3棟続きの店舗兼住居です。1階の外観は、出格子と平格子、下見板張り目板張りの腰壁、漆喰塗りなどで構成され、2階には虫籠窓が設けられています。

主屋内部、右手側店舗に入るとミセニワ、その奥の通り庭は開放的な吹き抜けとなっています。建築当初からあるおくどさんが状態良く残され、階段を登った所にあるアトリエからは、通り庭を一望できます。

通りを挟んで、主屋の向かいに建つ酒蔵の外観は、平格子、杉板張り、目板張りの腰壁、漆喰塗りなどで構成され、ほぼ建築当初の形態を残した外観意匠は歴史を感じさせます。

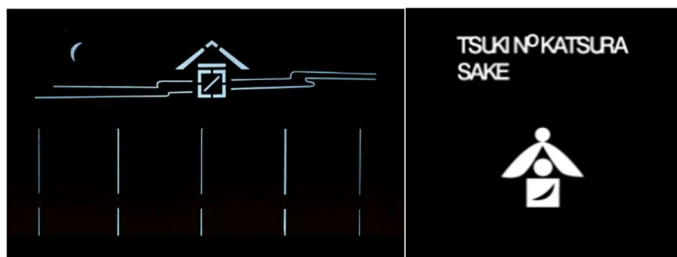
明治以降、作家など多くの墨客から愛され、今も蔵には酒器だけでなく古文書や浮世絵などが多く残されています。器や料理、伝統行事、芸術など、酒と文化の関わりに注目し、嗜みとしての酒を大事にしています。



酒蔵



主屋(通り庭)



〒612-8471 京都市伏見区下鳥羽長田町135  
 フリーダイヤル 0120-333-632 (9:00-17:00)  
 F A X 075-611-8118  
 アクセス 市バス「下鳥羽」徒歩4分  
 ホームページ <https://tsukinokatsura.co.jp/>